

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公開番号】特開2006-346253(P2006-346253A)

【公開日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-051

【出願番号】特願2005-177786(P2005-177786)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月11日(2008.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が自重により流下可能な球通路と、当該球通路内における遊技球の流下を制止可能な制止部材と、当該制止部材を駆動する駆動手段とを有し、前記球通路から遊技球を払い出しが可能な払出手段を備えた遊技機において、

払出手すべき遊技球の球数を記憶可能な払出手数記憶手段と、

所定の払出手信号の入力に基づき、当該払出手信号に応じた払出手すべき球数を前記払出手数記憶手段に設定する払出手数設定手段と、

前記払出手数記憶手段に記憶された払出手すべき球数を基に前記駆動手段を制御する駆動制御手段と、

前記払出手段より払出手される遊技球を検出する球検出手段と、

前記球検出手段によって検出された遊技球の球数を計数する球数計数手段と、

前記払出手数記憶手段に設定された払出手すべき球数を超えて払出手された過剰払出手分の遊技球の球数を記憶する過剰払出手数記憶手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技球が自重により流下可能な球通路と、当該球通路内における遊技球の流下を制止可能な制止部材と、当該制止部材を駆動する駆動手段とを有し、前記球通路から遊技球を払い出しが可能な払出手段を複数備えた遊技機において、

払出手すべき遊技球の球数を記憶可能な払出手数記憶手段と、

所定の払出手信号の入力に基づき、当該払出手信号に応じた払出手すべき球数を前記払出手数記憶手段に設定する払出手数設定手段と、

払出手すべき球数が1以上の場合には、前記複数の払出手段のうちの少なくとも1つにおいて前記駆動手段を作動状態として遊技球を流下させる制御を行い、払出手すべき球数が0の場合には、前記複数の払出手段において前記駆動手段を非作動状態として遊技球の流下を制止する制御を行う駆動制御手段と、

前記複数の払出手段から払出手される遊技球を検出する球検出手段と、

前記払出手数記憶手段に記憶される払出手すべき球数から、前記球検出手段によって検出された分の球数を減算する減算手段と、

払出すべき球数が0の場合に、前記複数の払出手段から払出された遊技球の球数を計数する過剰払出手数計数手段と、

前記過剰払出手数計数手段によって計数された球数を記憶する過剰払出手数記憶手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記過剰払出手数記憶手段に記憶された過剰払出手数の球数を表示する過剰払出手数表示手段を備えたことを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記制止部材は、前記球通路内における遊技球の流下を制止する規制位置と、遊技球の流下を許容する規制解除位置とに変位可能に設けられ、

前記駆動手段は、摺動変位可能な摺動手段を具備し、当該摺動手段の変位動作に基づき前記制止部材を変位駆動させるよう構成されていることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の遊技機。